

アラジン通信



第30号

2014. 4. 20

NPO法人 介護者サポートネットワークセンター・アラジン

CONTENTS

- ・巻頭言 P1
- ・平成25年度アラジン事業のご案内 P2~P3
- ・インフォメーション P4

~2014 年度スタートに寄せて~

“介護者（ケアラー）支援”の夜明けをめざして

うす桃色の色に、街も包まれたように感じる桜の饗宴もあつという間に過ぎ、早くも4月末、ゴールデンウィークを迎えようとしています。アラジンにもニューススタッフ達の顔ぶれが増え、活力がみなぎっています。

近年の大きな社会情勢の流れは、国の膨らむ社会保障費に向けた対策のひとつとして、2015年に予定されている「介護保険制度改正」があります。皆さんもいろいろなニュース媒体で見聞きされているかと思います。端的にいいますと（公制度に投入する国の費用が枯渇するので）「介護の必要な高齢者を、できるだけ家族や地域の互助や共助で見守り、世話をしていくようにしましょう。医療や介護も地域でつながりながら効果的にケアをするようにしましょう。」これが「地域包括ケア」というタイトルに込められた大きなメッセージです。

しかしながら、在宅介護で最も期待されている第1のインフォーマルケア＝「家族」は、非常に人数が少なく多様化しています。私たちが日常的にみている介護者（ケアラー）の様相も実にさまざま、高齢者ととも若年者（10～30代）の子ども達や孫たち、そして介護離職問題で注目されている働く現役世代（30～50代）などすべての市民に介護の波が寄せてきており、まさに樋口恵子さん曰く“大介護時代”に突入したといえましょう。

これまでの日本の福祉制度は、根拠としてあるのは、要介護者の権利を守る法律で進んできたと思います。そのため、介護者がどんなに心身ともに苦しい状況におかれていても（たとえ客観的にみて、ケアラーの基本的な権利が蹂躪されていたとしても）看過される事態もあったと思われま

す。それは、ケアラーの権利を擁護する法律がなかったからではないでしょうか。

ここ数年日本でも、やっと「ケアラー」という言葉ができ、少しずつ浸透してきました。“家族だから介護はあたり前”という考え方から「ケアする人の役割と権利」という視点に着目する考え方がやっとできてきた＝社会の俎上（そじょう）に上がってきた、と感じています。

先月（3月）には長年の思いが実り、国会議員を中心に「ケアラー議員連盟」が立ち上がりました。まだ勉強会として始まったばかりですが、ケアラーたちに登場いただき実情の理解と共有、そして「ケアラー支援法」の実現に向けて、公助を推進していきます。

そして、私たちができることは、地域でこれまでも増して、互助・共助を強めることです。これからは、自治体単位でさまざまなサービスやインフォーマル（制度外）の資源を作っていくことが求められています。これまで以上に、市民の目線での居場所や情報・サービス拠点をたくさん作り、つながっていき、必要なサービスや活動をさらに生み出していくことだと思います。この6月28日（土）には、全国の介護者支援団体（中間支援やNPO）が集合し、全国連絡会を結成します。

大きな社会的局面を迎えている今、私たちの使命としては、この難局を乗り切っていく一助になること、そしてこれまでの積みあげてきた英知を生かし、形にしながら次世代に手渡していくこと、だと思っております。

今後とも、みなさんの積極的な参画と応援をお待ちしています。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。
（理事長 牧野史子）

平成25年度アラジン事業のご案内

アラジンでは、現在行政との連携や自主事業などさまざまな事業を行っています。本号ではその一端をご紹介しますと思います。お聞きになりたいことがあれば、アラジンにご連絡ください。

★地域の方々のつどいの場を提供しています。運営ボランティアも養成しました。

新宿区ほっと安心カフェ

都営百人町アパート 13時～16時
第1・3木曜日 14号棟集会室
第1土曜日 16号棟集会室
第4水曜日 10号棟集会室
*参加費：100円



港区麻布地区ちょこっと立ち寄りカフェ

飯倉いきいきプラザ（平成26年度から定例開催）
第1水曜日 13時30分～15時30分
麻布いきいきプラザ（平成26年度から定例開催）
第2木曜日 14時～15時30分
南麻布いきいきプラザ
第4水曜日 13時30分～15時30分
*参加費は、各地域とも100円

目黒区 いよさん家

目黒区五本木1丁目
市民交流スペース「ラミヨ」
第2水曜日
13時30分～15時30分
*参加費：100円

目黒区 カフェあおば

目黒区青葉台1丁目
アパート集会室
第3金曜日
13時30分～15時30分
*参加費：100円

杉並区 ららカフェ

杉並区成田東 個人宅
毎週木曜 13時～16時
*カフェを運営する
地域ボランティア
グループとして独
立しました。



ゆうゆう馬橋館

杉並区の地域の方々に学びや交流の場を提供しています。さまざまな講座も開催されています。アラジンは受付業務と協働事業を担当しています。

TEL 03-3315-1249

ゆうゆう阿佐谷館

杉並区の地域の方々に学びや交流の場を提供しています。さまざまな講座も開催されています。アラジンは受付業務と協働事業を担当しています。

TEL 03-3391-8345

★介護をしている方のためのつどい場として「介護者の会」を立ち上げました。

豊島区

区内 5カ所
1 たんぽぽ
（駒込地域文化創造館）
2 土曜の会
（デイホーム南池袋）
3 上池袋（中央包括）
4 ひまわり
（要町第一区民集会室）
5 医師会館（医師会包括）

新宿区

区内 3カ所
1 大久保地区（百人町地域交流館）
2 榎町地区（牛込保健センター）
3 西新宿地区（西新宿シニア活動館）

府中市

市内 3カ所
1 雲雀（府中市女性センター）
2 けやき（宮西町ふれあい会館）
3 清水が丘
（清水が丘地域包括センター）

練馬区

区内 6カ所
1 大泉コロナ（大泉まささんの家）
2 あかつきの会
（第二光曜苑ディサービスセンター）
3 富士見介護家族の会
（富士見台ディサービスセンター）
4 銀杏の会（光が丘区民センター）
5 貴井介護家族の会
（薬師堂グループホーム「澄」3F）
6 小竹介護家族の会
（小竹地域集会所）

★ネットワークづくり

ネットワーク会議

毎月最終水曜日

介護者の会のリーダーたちの交流、情報交換の場です。

*今年度は、年3回の開催となります。



介護なんでも文化祭

毎年10月に文化祭が開催されます。アラジンは4階のリーダーとブースを担当しました。

*今年度は10/18です。

全国介護者支援団体連絡会(仮称)

全国から介護者支援をめざす支援者や組織が一堂に会し、情報交換や、各地域での取り組み、全国的な活動を集約する場をつくりました。

*今年度は6/28です。

★介護者の交流の場を提供します

ケアラズカフェ&ダイニングアラジン

24年4月にオープンしました。近隣の方はもとより、名古屋など遠方からの参加もあります。

毎週火曜、水曜 11:30~17:00

毎週木曜、金曜 11:30~21:30 タぐれバー開催中 17:30~21:30

【予告】5月8日よりケアラーのための夕食サービスが始まります。

毎週木・金 17:00~19:00 数量限定ですが、お持ち帰り用の手づくりおばんざいを毎日3種類をご用意いたします。ご期待ください

東京都杉並区阿佐ヶ谷北1-4-1 TEL03-6317-1634

娘サロン

おもに独身で母親を介護している娘さんのためのサロンです。(会費:500円)

毎月第4土曜日

ケーキとコーヒー付

ケアラズカフェ&ダイニングアラジン

息子サロン (つくし会)

おもに独身で母親を介護している息子さんのためのサロンです。(会費:300円)

毎月第1土曜日

軽食とコーヒー付

アラジン新宿事務所

★アラジン自主事業です

オアシス電話

介護者のための電話相談です。

毎週木曜日

10時30分~15時

電話 03-5368-0747

ケアフレンド派遣

介護者を訪問してお話しをお聴きします。

講師派遣

自治体や事業所からの依頼で講演を行いました。

アラジン通信

年4回アラジンの情報をお届けします。



フォーラムの開催

昨年6月30日に「オランダの認知症から学ぶ」と題してフォーラムを開催しました。

*今年度は、6/29です。

セミナーの開催

昨年7月21日に「ドラッカーと介護者支援」のタイトルでお二人の方による公開討論会を開催しました。

企業研修

企業の依頼により社員向けに介護にまつわるさまざまな問題について講座を行いました。

◆介護者の会はこれまでに他の自治体でも立ち上げています。また各会の開催日は変更になる事もあります。

参加ご希望の方はアラジンまでお問い合わせください。

◆今年度もあらたな事業が予定されていますので、あらためてご案内します。

《INFORMATION》

アラジン第11回通常総会のご案内

と き：2014年5月24日（土）
13:00～16:40

ところ：新宿御苑前「東京在宅サービス」
3階会議室

*今年は2部構成、総会と「会員のつどい
～アラジンに期待することPARTⅡ～」を
行います。ご参加をお待ちしています！

「市民発！介護なんでも文化祭」開催決定！
10月18日（土） 詳細は追って

介護者フォーラム2014開催！

「介護と仕事の両立ができる
地域社会づくりのために」

《基調講演：樋口 恵子氏》

と き：2014年6月29日（日）
13:00～16:30

ところ：青山「東京ウイメンズプラザ」

定員：200名

参加費：1500円（会員1300円）

☆緊急のお願い

このたび、厚生労働省科学研究補助金を受けて、慶応義塾大学医学部精神神経科主任研究員佐渡光洋氏が実施する「わが国における認知症の経済的影響に関する研究」に「一般社団法人日本ケアラー連盟」を通じ、アラジンとして協力することになりました。

この研究は、日本ではこれまでほとんど推計されてこなかった認知症の社会的コスト、特に家族などが担う介護について、具体的に時間数に反映させ、経済コストとしてきちんと推計しようというものです。先の認知症サミットにおきましても、他の国々では発表されていますが、日本では初めての有意義な試みになります。有効なデータとなるには少なくとも1000票の回収が必要になります。

是非みなさまにご協力をいただきたく、願います。次第です。（まだ数が足りていません。）

■調査対象者は、現在在宅で認知症の人を介護されている20歳以上の方です。

■協力いただける会やサロンの関係者の方は、是非ともアラジンへご一報ください。個人の方でもお気軽にご相談ください。

■協力者や団体には薄謝があります。

■調査は、5月～6月の間です。（6月末必着）郵送にてお届けします。

事務局リレー便り

新年度が始まり、多くの方が、これから新たな出会い、新たな人との縁を作っていくことと思います。私とアラジンの出会いですが、

昨年10月頃、アラジンの牧野理事長の講座を聞く機会に恵まれ、10年以上も前から活動をしていることに驚きと尊敬の念、「凄い」という気持ちでいっぱいになり、講義を聞いた翌日にメールを入れさせて頂きました。これが、私がスタッフになる大きなきっかけになったと思います。

この4月、介護での悲しい事件をニュースで聞きました。その要因の一つに、介護者の孤立化が挙げられると思いますが、アラジンの活動は、この孤立化防止にも大きな役割を果たしていると強く感じています。

アラジンを知る前に、孤立化しない居場所を作りたいと考えていた私です。アラジンにより、市民目線での介護者の居場所が増えていきます。それをより多くの人に知ってもらいたい。届けていきたい。必要だけど、知ることが出来ていない人との縁も多く作れることを願い、アラジンのスタッフとして頑張ってまいりますので、よろしく願いいたします。
（事務局 遠藤美保子）

2014年度会費納入のお願い！
振込用紙をご利用ください

編集後記：おかげさまで30号・・・

おかげさまでこの度アラジン通信は第30号になりました。

アラジン通信第1号は2002年7月21日に発行されました。2001年11月にアラジンが発足してから初めてのご報告でした。

当時の会員さんは約70名、現在は200名を超える方々に支えられています。年間の発行回数はその年によっても違いますが、タイムリーな情報発信をめざしています。これからもご期待ください。（M. O）

発行：NPO法人介護者サポートネットワークセンター・アラジン 発行者：牧野史子
事務所：〒160-0022 新宿区新宿 1-25 -3 エクセルコート新宿 302号
TEL 03-5368-1955 FAX 03-5368-1956
E-mail arajin2001@minos.ocn.ne.jp URL http://www12.ocn.ne.jp/~arajin